

# 首都直下型地震に備え、顧客の信頼に応える —フジオカエアータイト株式会社—

## 企業概要・沿革

当社は、1979年（昭和54年）創業時より、建築用ゴムガasket・バッカー材の加工、販売の商社です。

お客様のあらゆるニーズにお応えできる的確な提案力と長年にわたり少量多品種の対応を得意としており、ゴムのことなら何でも相談できる会社として、お客様に高い評価を得ています。

また、1996年（平成8年）に東証一部上場の三洋工業株式会社の子会社となり、企業の安定性を増すと共に、時代のニーズに対応したゴム製品の品揃えを一貫して行ってまいりました。近年においては安心、安全をテーマとした関連商品も取扱いをはじめました。従業員10名の規模ながら、営業と業務が一丸となり、お客様第一主義のもと全員営業で従業員と会社の安定と発展を考えている企業です。



当社板橋本社

## 特注品、小ロット品、試作品の対応可

当社は、顧客の要望が特注品、小ロット品、試作品であっても口金製作から対応します。

- ①1個だけの加工品、少量、必要な長さが短い。
- ②部品を取り付けてみたら、うまく合わない。
- ③形は決まっているけど材質が決まらない。
- ④ゴムの現物はあるけど図面がない。等、そんな状況での困りごとの御相談の対応を行っています。



当社倉庫の加工作業



事務所内の様子



当社主力製品の見本帳

## BCP策定への取り組んだ理由

企業を取り巻くリスクには、地震、台風、新型コロナ等の自然災害リスクをはじめ様々な種類が存在します。建築用ゴム供給者として様々な災害時においても顧客への責任ある納入をスムーズに実施できるかどうかを懸念をしています。

当社は板橋区の住宅街にあり住宅、マンションが密集したエリアのため、昨今の首都直下型地震による被害を一番の脅威と感じています。業務を止まらせないことを念頭に計画を立てる必要を感じました。

2020年9月、板橋区がBCP簡易モデルの企業への導入を勧めていることを知り、しかも訪問支援を実施するとのことで、この機会を利用してBCP策定を決意しました。



フジオカエアタイト株式会社  
代表取締役 久保田和弘

## 策定にあたり特に注力した点

- ①災害発生時は、まずは従業員、お客様、協力外注先、親会社へ直ちに被害状況の安否確認連絡をすることを最優先課題とし、関係の連絡先リストの整備に注力しました。
- ②BCP発動時、復旧判断に必要な行動の指針となる文書であるのか、またその文書を基に行動を実際にした時にイメージ出来るような内容となっているかを目指しました。
- ③BCP策定文書は年1度決まった時期(4月)に更新することを社内ルールとして決めるとともに、定期的に経営に関してもチェック機能が働くように運用していきたいと思えます。

## BCP策定の感想・効果

BCPを策定し、首都直下型地震における一定の安心感が醸成されたが、実際の行動に移せるよう年一回は防災訓練を実施することが不可欠と考えます。常に、災害時の行動を各自が防災訓練により身体で覚えておくことが自分の命を守ることが可能となり、結果として業務を止まらせないことになり顧客への責任ある納入をスムーズに実施できるものと思います。

経営トップとして、災害時の従業員への指示が迅速にできるように頑張りたいと思います。

今回のBCP策定により、災害発生直後の応急業務の発生と外部からの応援も期待しながら業務レベルの向上を図っていきたいと思います。そして、今後も顧客からの要求に対する行動をとることで、一段の信頼を得ていかなければならないとの思いです。



### 事業者情報

事業者名	フジオカエアタイト株式会社
本社所在地	板橋区板橋1-4-3 YSビル1階
設立	昭和54年12月
資本金	3,000万円
従業員数	10名
代表者	久保田和弘
Tel	03-3962-6339
E-mail	Kaz-kubota@fujioka-at.co.jp